

ビバドッグ大和田店通信 VOL. 6 H30.2月発行

今年も1ヶ月が過ぎ、あっという間に2月になりました。

まだまだ寒い日が続きます。引き続き風邪などには、お気を付けてくださいね！

2月と言ったら…そう！バレンタイン♡街にはたくさんのチョコレートがあふれています

人間はもったら嬉しいチョコレートですが、ワンちゃんには？…

今回はチョコレートとワンちゃんについての記事からスタートです(*'▽')



冬の散歩はどうしたらいい？



犬にとって散歩はとても大切な時間の一つです。そして、それは冬の散歩も同じです。散歩の前のケアや、散歩の時間帯などひと工夫するだけで犬の負担がぐぐっと減ります。

冬の散歩前のウォーミングアップ

急に寒いところに出ると、体に負担が掛かってしまいます。出かける前に、玄関先などで少しウォーミングアップしてあげましょう！急な寒さや乾燥が苦手なのは、犬も人も同じなんですよ！

寒さ対策

冬の散歩の際は犬用防寒具を活用しましょう！犬によって個体差はありますが、寒さが苦手な犬もいます。(短毛種など) そんな犬には防寒用に、服を着せてあげるとあたたかく冬の散歩を満喫できます。また雨の際はレインコート、雪の際はブーツ等、天気や気温によって変えてあげると良いかもしれません。

これらを踏まえて、**8時～17時頃までに散歩を済ませると良い**でしょう！犬にとって欠かせない冬の散歩、工夫ひとつで素敵な冬の散歩になるかもしれません。



犬にチョコレートを与えたら本当にダメなの？

最近では、「チョコレートは犬にあげてはいけないもの」として広く認知されるようになってきました。

なので、チョコレートを犬に与える人はほとんどいないかと思われれます。ですが、室内犬が増え

人と近い場所で生活することにより、知らないうちに愛犬がチョコレートを食べてしまい、

チョコレート中毒になる事例が多いようです。実際、当店のお客様にもいっしょにやいました。



チョコレート中毒とは

チョコレートに含まれているテオプロミンが心臓、中枢系神経を刺激し、**不整脈等の症状や、興奮、痙攣**などの異常を引き起こします。また、最悪の場合は死に至ることもあります。症状は犬の体重や体質によっても異なりますが、**体重約10kgの犬が約100g**のチョコレートを摂取した場合、症状があらわれる可能性が高いと言われています。ちなみに一般的な板チョコは1枚約70gですので、小型犬の場合はひとかけらでも要注意です！！

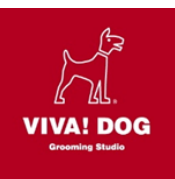
1年間で最もチョコレートの消費が多い2月は、愛犬の身近にもチョコレートが多くなります。愛犬の届かない場所にチョコレートを置くことを心掛け、事故を予防するとともに、万が一事故が起きた場合には、すぐに通院できるような動物病院を探し、備えることが愛犬へのバレンタインプレゼントと言えるのかもしれないね♡

～ 今月のお客様紹介☆三 ～

今回のお客様紹介はモデル犬でご利用頂いているMix犬の**ちいちゃん**です！顔をふっくらと、大きめにするカットで今回はご注文いただきました！モコモコでぬいぐるみの様なカットが、**ちいちゃん**にとっても似合っています♪
M様いつもご協力ありがとうございます(*'▽')
来月もお待ちしております！！



大和田店では常時モデル犬募集中です、是非皆様のご連絡お待ちしております



ビバドッグ大和田店 八王子市大和田町 5-16-1 ムラウチホビーリフォーム&ペット館 2階

ご予約優先 ☎042-649-9101

営業時間 9:30-19:00 水曜定休

トリミング ビバドッグ 検索